

やまなし 県議会 だより



令和2年1月7日 県議会議事前

十二月定例会の概要

県議会は、令和元年十二月定例会を十二月三日から十八日までの十六日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で長崎幸太郎知事は、台風十九号被害について「上陸前から災害対策本部を設置して事前準備を整え、発災後は、災害復旧対策本部を設置して、最速・最速で復旧を目指して対応している。道路などのインフラ施設は、国の災害査定を待たず、仮設道路などの応急工事を速やかに実施し、県民生活への影響を最小限にとどめる」と強調されました。

さらに「今回脆弱性が露呈した中央自動車道、JR中央線といった東京方面への重要な交通網の強靱化や大規模発電発生時の対応について、国や東京電力などと協議の場を設定し、具体的なリスク軽減策について検討を進める」と述べられました。

韮崎市の養豚場で感染が確認されたCSF(豚コレラ)への対応では「感染確認直後に対策本部員会議を開き、初動防疫措置を徹底した。風評被害なども含め、国など関係機関と連携してあらゆる面から速やかに対策を講じていく」と強調されました。

総合計画の策定については「新たな総合計画は、私の県政推進の思いや考えをもとに、山梨県の未来像を形にしたもので、幅広く意見を聞きながら策定を進めてきた」と述べられました。

スポーツによる地域活性化では「ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックで高まっているスポーツへの関心を一

過性のものにせず、「スポーツで稼げる県づくり」をテーマに幅広く議論する懇話会を設置する。総合球技場についても懇話会で取り上げ、地域への経済効果が発揮できるように、より広い視点から検討を深める」と述べられました。知事の説明を受けて、十二月六日、九日から十一日の四日間、代表・一般質問が行われました。(詳報は二面)

十二月十二日には、教育厚生、土木森林環境委員会、十三日には総務、農政産業観光委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。(詳報は三面)

定例会最終日の十二月十八日には、総額八十一億八千八百四十一万六千円の一般会計補正予算案など二十案件を可決しました。

議会活動の紹介

県歌「山梨県の歌」の普及促進に関する決議

県歌「山梨県の歌」は、戦後の混乱期にあって、郷土のすばらしさを認識し、理想山梨建設の郷土愛を高

県議会トピックス

全員協議会の開催



大柴邦彦議長は、長崎知事からの申し出を受け、議案の審査及び議会の運営に関する協議及び調整を行う場である全員協議会を開催しました。12月11日には、12月定例会に提出された山梨県総合計画策定について、また18日には、リニア山梨県駅(仮称)の駅位置の検証結果について、知事から説明を受けた後、議員から活発な意見交換が行われました。



県民の率先垂範となり議場で県歌を斉唱する議員ら

揚させるために、昭和二十五年に制定されました。「豊かさを実感できるやまなし」を実現するためには、改めて県歌の重要性を認識し、次の世代に継承していくことが、県議会の責務と考え、県歌の普及促進に関する決議を可決しました。
※四面に「山梨県の歌」の譜面を掲載しています。



委員会レポート

総務委員会

委員長 乙黒泰樹



山梨県総合計画策定

問 総合計画に描く二十年後の未来は、現在、十代の若者が、既に社会に出ている時代であるが、こうした若者が自分たちの未来をつくっていく県政に関心をもち、発言していくことは、大変重要である。そのために、総合計画により実現を目指す将来像は、中高生にも理解してもらえらるような、わかりやすい形で県民に示すことが必要であるが、どのような方法で、将来の姿を県民と共有していくかと考えているのか。

答 二十年後の山梨に暮らす人々の生活を、さまざまな生活シーンを切り取る形で、漫画やイラストなどで描き、自分自身の未来の姿と重ね合わせることで、できるような冊子を、導入編として、計画本体とは別に作成する。冊子は年度内に作成し、市町村や図書館など県民の目に触れやすいところに配布したり、県ホームページで公表したりするほか、特に中高生については、教育委員会の協力を得る中で、広く周知していきたい。

【その他の主な質問事項】
・スポーツによる地域活性化懇話会開催費
・庁内託児所設置事業費

教育厚生委員会

委員長 渡辺淳也



問 電子版かかりつけ連携手帳普及促進モデル事業費補助金
電子版かかりつけ連携手帳に期待される効果は何か。また、今後、さらなる普及に向けてどのような展開を考えているのか。
答 医療関係者や介護関係者は、これまで患者本人の口頭での申告などで、他の病院などの診療内容を把握していたが、連携手帳でのデータ提示によって正確かつ容易に確認できるようになるため、より適切な治療や健康管理につなげられる。また、電子版かかりつけ連携手帳の機能を十分に発揮させるためには、より多くの県内医療

機関への普及が重要である。こうした中で、山梨県医師会では組織として連携手帳の普及に取り組むとしており、また、国においても電子版かかりつけ連携手帳を初めとした、パーソナルヘルス・レコードの普及と活用について検討が進められている。今後、こうした国の動向も見据えながら、県内への一層の普及に向けて鋭意検討をしていく。
【その他の主な質問事項】
・山梨県児童福祉施設に関する基準を定める条例及び山梨県幼保連携型認定こども園に関する基準を定める条例中改正の件
・地方独立行政法人山梨県立病院機構の中期目標を定める件

農政産業観光委員会

委員長 猪股尚彦



被災農業施設復旧支援事業費

問 本事業は、台風十九号による被害に対応するため計上したとのことだが、どのような支援を行うのか。また、事業の周知をどのように行っていくのか。
答 本事業は、損壊した市町村の鳥獣害防除施設や農業者の農業用施設等の復旧を支援するものである。鳥獣害防除施設に関しては、土砂の押し出しによる柵の倒壊等の被害により、野生のイノシシ等による農作物への被害が防止できない状況であるため、早期に復旧が図られるよう支援

していく。また、農業用施設等に関しては、果樹棚等の施設については、国が特例で補助率を十分の三から十分の五に引き上げ、県と市町村が十分の四を支援することから、従前より手厚い支援となっている。加えて、既に施設等の撤去や再建修繕に着手、完了したのもも補助の対象としていく。
また、事業の周知については、農務事務所が市町村やJAと連携し、被災農業者に対し、パンフレット等の配布とともに説明を行い周知に努めていく。

【その他の主な質問事項】
・被災県観光需要喚起対策事業費
・被災中小企業復旧支援事業費補助金

土木森林環境委員会

委員長 宮本秀憲



問 今回の改正において、県営住宅等への入居を促進するため、県内居住としている連帯保証人の要件を県外居住者にも広げるとのことであるが、家賃の滞納があった場合、県外の連帯保証人に対して、どのように対応していくのか。
また、今回、入居要件を緩和することにより移住の促進を期待することだが、どのような効果を見込んでいるのか。
答 滞納があった場合、県外の連帯保証人に対しては、県内の場合と同様に納入催告通知等の書面での催告を行っていく。回収困難な場合は、弁護士事務所へ回収を依頼するなど、未収金をふやさないうり取り組んでいく。
また、今回の入居要件の緩和により、県外の単身者も入居可能となることから、二十代や三十代の若者層のU・Iターンにもつながるものと考えている。
【その他の主な質問事項】
・公共土木施設災害復旧費
・林道災害復旧費
・山梨県手数料条例中改正の件

議会活動の紹介



教育厚生委員会

平成30年8月に供用開始した富士北麓公園(富士吉田市)の屋内練習走路を初めとする施設について、整備状況などの説明を受けた後、施設内を視察(写真)しました。また「看護人材確保・育成について」をテーマに、公益社団法人山梨県看護協会会員の皆様と意見交換をしました。



総務委員会

令和元年8月に竣工した南都留合同庁舎(都留市)の移転整備について、これまでの経緯や建設工事の概要説明などを受けた後、庁舎内を視察しました。また「外国人留学生に選ばれる山梨について」をテーマに、山梨学院大学の外国人留学生の皆様と意見交換(写真)をしました。



土木森林環境委員会

令和元年5月に稼働した株式会社キーテック山梨工場(身延町)において、木材加工流通施設整備事業について概要説明を受けた後、工場内を視察(写真)しました。また「山梨県の建設業の現状と課題について」をテーマに、一般社団法人甲府地区建設業協会会員の皆様と意見交換をしました。



農政産業観光委員会

県内の畜産経営の優良事例である農業生産法人黒富士農場と有限会社小林牧場(いずれも甲斐市)において、概要説明を受けた後、施設内を視察(写真)しました。また「県内中小企業の現状と今後の展望について」をテーマに、一般社団法人山梨県機械電子工業会会員の皆様と意見交換をしました。

常任委員会 県内調査

議会閉会中に、各常任委員会では、それぞれ所管する事項の審議の参考とするために、県内外に出向き調査活動を行っています。今回は、各常任委員会の県内調査の主な状況について御紹介します。

議会運営委員会

議会運営委員会(浅川力三委員長)は、今後の議会運営及び議会改革の参考とするため、香川県議会と岡山県議会を訪問し、政策条例の制定や政策提言の状況、また、議会の活性化に向けた取り組みについて調査を行いました。これにあわせて、児島ジャンストリート(児島商工会議所・岡山県倉敷市)において、地場産業の振興と地域創生の取り組みについて調査と視察をしたほか、徳島県庁において、消費者庁誘致に係る経緯と受け入れ体制など県の対応と、消費者行政新未来創造オフィスの取り組み状況についての調査を行いました。



岡山県議会にて調査する委員

決算特別委員会

九月定例会で設置された決算特別委員会(鈴木幹夫委員長)は、議会閉会中、平成三十年度山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出決算の内容及び平成三十年度公営企業会計(県企業局の電気事業、温泉事業、地域振興事業)の決算内容の審査を行いました。その結果を十二月定例会開会日の本会議で、委員長が報告し、認定されました。

山梨県特殊詐欺の被害防止条例案作成委員会

山梨県特殊詐欺の被害防止条例案作成委員会(鈴木幹夫委員長)は、特殊詐欺の被害防止条例案の作成の参考とするため、埼玉県議会を訪問し「埼玉県特殊詐欺撲滅条例」について調査を行いました。



埼玉県議会にて調査する委員

太陽光発電設備の適正化に関する県議会議員連盟研究委員会

太陽光発電設備の適正化に関する県議会議員連盟研究委員会(久保田松幸委員長)は、太陽光発電設備の適正導入と維持管理の参考とするため、甲府市善光寺地内、甲斐市菖蒲沢地内及び富士吉田市上暮地内の三方所の太陽光発電設備を視察し、事業者などから工事の概要や取り組みについて説明を受け、現状や課題等について質疑を行いました。



インバウンド観光に関する政策提言案作成委員会



白馬村議会にて調査する委員

インバウンド観光に関する政策提言案作成委員会(望月勝委員長)は、インバウンド観光に関する政策提言案の作成の参考とするため、信州白馬八方温泉しろうま荘(長野県北安曇郡白馬村)と白馬村議会を訪問し、調査を行いました。

山梨活性化促進県議会議員連盟農林業部会



左から坂内啓二農政部長、遠藤浩副議長、大柴邦彦議長、長崎幸太郎知事、鈴木幹夫部会長

山梨活性化促進県議会議員連盟農林業部会(鈴木幹夫部会長)は、県内養豚農場からCSFが発生したことから、養豚農家が安心して畜産経営に携われるよう、CSF感染が疑われる事案や感染が確認された場合に、迅速かつ的確な防疫措置を講じることができるよう、CSFの防疫対策の強化を求めることについて、執行部に再度要望を行うことを決定し、要望書を長崎知事に提出しました。

2月定例会の予定

2月定例会は次のとおり開催する予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

- 2月17日(月) 本会議(開会)
- 25日(火) 本会議(質疑・質問)
- 26日(水) 本会議(質疑・質問)
- 27日(木) 本会議(質疑・質問)
- 28日(金) 本会議(質疑・質問)
- 3月 2日(月) 常任委員会(令和元年度関係)
- 3日(火) 常任委員会(令和元年度関係)
- 4日(水) 本会議(令和元年度関係)
- 5日(木) 常任委員会(令和2年度関係)
- 6日(金) 常任委員会(令和2年度関係)
- 9日(月) 常任委員会(令和2年度関係)
- 10日(火) 常任委員会(令和2年度関係)
- 23日(月) 本会議(閉会)

※常任委員会については分散開催を実施する予定です。
※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

ホームページ、会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、お住まいの市町村役場等でもご覧いただけます。



山梨県議会 🔍 検索

山梨県の歌

作詞：矢沢千里
作曲：岡本敏明

おおらかに ♩=108



(一) ひかり すがしい あさ-かぜ に



め -ぐる や-ま-なみ いろ-はえ て



のぞみあふれるやまなしに のびゆくあすの よろこびを こ-



ころあ-かるくか-た-ろう よ

山梨県のHPにて、県歌を聞くことができます。



山梨県の歌 🔍 検索